

MODERN KUTANI

— もてなしのUTSUWA —

2025 Ceramic Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan

山田義明展

2025.3.9^{SUN} - 4.13^{SUN}



【開館日】水・木・土・日曜日 11:00~16:00(入館は15:30まで) 【休館日】月・火・金曜日
【会場】緑ヶ丘美術館・別館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘1426-38 **入場無料**
【URL】<http://mam-museum.com> <お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7879>

MAM-ANNEX
Midorigaoka Art Museum
緑ヶ丘美術館・別館

MODERN KUTANI

— もてなしのUTSUWA — YAMADA YOSHIAKI



手前から、時鳥草図リム皿 / 椿図リム皿



上から、パイナップルセージ図 輪花皿 / ナスタチューム図 輪花皿
ブルーセージ図 輪花皿 / ラベンダー図 輪花皿



左から、野葡萄に鶇図 フリーカップ / 薊図 フリーカップ
花水木図 フリーカップ / 枯れ蓮に翡翠図 フリーカップ



団子魚図(紫・黄・赤) 馬上杯(皿付)

手前から、片栗図 長皿 / 春の野芥子図 長皿
秋海棠図 長皿

五彩を駆使し余白を活かす 新しきKUTANIの世界

移りゆく四季を見つめ、山野草や野鳥を写実的に描くことで知られる九谷焼作家・山田義明。伝統の九谷五彩を発展させ生み出した瑞々しく美しい色彩と、確かなデッサン力を活かして完成される絵付けがその作品の醍醐味だ。

今回はその色絵を、料理を盛る器の上に展開。トラディショナルな九谷の美を現代的かつスタイリッシュなテーブルウェアとして見せようという意欲作が並ぶ。

従来の、作品全面を一つの絵画とみなしたような完成された「飾るための器」と、料理のためにあるいわば「名脇役としてのテーブルウェア」。ややもすると相性が良くないにも思えるが、元来山田義明の作風は、九谷の五彩で絵を描きつつ“余白の美”を活かして完成させる絵付けが魅力の多くを担っている。その色絵の特性を活かしつつ、あくまでも料理を盛る器として展開したのが今回の作品群だ。

現代的でスタイリッシュな、和にも洋にも引き立つ、新しい色絵テーブルウェアの形。山田義明による「MODERN KUTANI」の世界を、どうぞ高覧ください。



Midorigaoka Art Museum
緑ヶ丘美術館・別館

◎アクセス:〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または
〈近鉄生駒線〉〈近鉄奈良線〉で「生駒駅」下車。生駒駅
「南口1番のりば」より奈良交通バス「中菜畑二丁目行き」
乗車→「新旭ヶ丘バス停」下車、徒歩すぐ。